



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 スパイダープラス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4192 URL <http://spiderplus.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 伊藤 謙自
 問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員CFO（氏名） 藤原 悠（TEL）03-6709-2834
 半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,911	—	△347	—	△347	—	△353	—
2023年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 △354百万円（—%） 2023年12月期中間期 —百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△10.06	—
2023年12月期中間期	—	—

- （注） 1. 2024年12月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期中間期の数値及び対前同中間期増減率は記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	4,608	3,058	66.4
2023年12月期	—	—	—

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 3,057百万円 2023年12月期 —百万円

（注）2024年12月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2023年12月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	4,321	—	△429	—	△446	—	△233	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年12月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期中間期	35,245,800株	2023年12月期	35,090,800株
2024年12月期中間期	152株	2023年12月期	152株
2024年12月期中間期	35,127,517株	2023年12月期中間期	34,547,350株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、当社グループは、2024年3月にSPIDERPLUS VIETNAM CO., LTD.を連結子会社として設立し、2024年12月期より連結決算に移行しております。当社グループの連結業績予想は、当該連結子会社の業績を織り込んだ数値であります。また、当期の連結業績予想は、2024年2月14日に開示した業績予想を当該連結子会社を含めた数値としているため、前回発表の通期業績予想から変更はありません。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社グループは、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当社グループは、「私たちは、“働く”にもっと「楽しい」を創造する。」をミッションに、建設業の現場業務をDX(デジタルトランスフォーメーション)することで、建設業界の課題解決に貢献する施工管理SaaS(注)「SPIDERPLUS」の開発・販売を主力とするICT事業を展開しております。

(注)SaaS: Software as a Serviceの略称。IDを発行されたユーザー側のコンピュータにソフトウェアをインストールするのではなく、ネットワーク経由でソフトウェアを閲覧する形態のサービス。

当社グループが事業を提供する建設業界は、人件費や建設資材価格の高騰、慢性的な人手不足や長時間労働の常態化などの構造的な課題に加えて、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」の上限規制が2024年4月から適用される(いわゆる2024年問題)といった課題に直面し、経営・業務の変革が求められています。

このような建設業界の市場環境下において、DXやDXを実現するためのSaaS導入などのIT投資意欲が旺盛に推移しており、当社グループは2024年問題を契機として、建設DX市場が拡大期に入ると考えております。当社グループは、建設DX市場の転換点を見据えて、2021年度から2024年度までを先行投資期間と位置づけた戦略的なコスト投下を継続し、人的投資を中心とした組織規模の拡大や、全国の販売パートナーとの協力体制の強化に重点的に取り組んでまいりました。

以上の事業環境のもと、建設業界のDXを推進し生産性の向上とコスト削減に貢献するサービスである「SPIDERPLUS」は、建設業界のIT投資需要を取り込み、ID数(ユーザー数)増加の他、ARPU(1契約ID当たりの契約単価)も順調に向上しました。

その結果、「SPIDERPLUS」の2024年6月末における契約ID数は71,809(前年同月比13.6%増)、契約社数は1,985社(前年同月比18.8%増)、ARPUは4,600円(前年同月比14.1%増)と堅調に推移し、当中間連結累計期間の売上高は1,911,027千円、営業損失は347,492千円、経常損失は347,840千円、親会社株主に帰属する中間純損失は353,276千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は4,608,242千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が2,859,699千円、売掛金が515,277千円、有形固定資産が246,592千円、ソフトウェアが399,433千円、ソフトウェア仮勘定が248,461千円であります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は1,549,845千円となりました。主な内訳は、短期借入金が250,000千円、1年以内返済予定の長期借入金が155,580千円、未払金が226,006千円、長期借入金が450,878千円であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は3,058,396千円となりました。主な内訳は、資本金が2,490,682千円、資本剰余金が2,768,240千円、利益剰余金が△2,199,289千円であります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は2,859,699千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、322,972千円となりました。これは主に、人的投資を中心とした先行投資等に起因した税金等調整前中間純損失347,830千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、45,299千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出27,614千円、有形固定資産の取得による支出18,060千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、383,333千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が32,958千円計上された一方、長期借入れによる収入389,651千円、新株予約権の行使による収入27,900千円が計上されたことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社連結グループは、2024年3月にベトナムにSPIDERPLUS VIETNAM CO., LTD.を連結子会社として設立し、2024年12月期より連結決算に移行しております。当社グループの連結業績予想は、当該連結子会社の業績を織り込んだ数値であります。また、当期の予想につきましては、2024年2月14日開示の業績予想においても当該連結子会社を含めた数値としており、前回発表の通期業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,859,699
売掛金	515,277
仕掛品	559
その他	104,228
流動資産合計	3,479,764
固定資産	
有形固定資産	246,592
無形固定資産	
ソフトウェア	399,433
ソフトウェア仮勘定	248,461
無形固定資産合計	647,894
投資その他の資産	233,990
固定資産合計	1,128,477
資産合計	4,608,242
負債の部	
流動負債	
短期借入金	250,000
1年内返済予定の長期借入金	155,580
未払金	226,006
未払費用	93,746
未払法人税等	24,420
その他	337,714
流動負債合計	1,087,468
固定負債	
長期借入金	450,878
資産除去債務	8,723
その他	2,774
固定負債合計	462,376
負債合計	1,549,845
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,490,682
資本剰余金	2,768,240
利益剰余金	△2,199,289
自己株式	△184
株主資本合計	3,059,448
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△1,541
その他の包括利益累計額合計	△1,541
新株予約権	489
純資産合計	3,058,396
負債純資産合計	4,608,242

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,911,027
売上原価	654,328
売上総利益	1,256,699
販売費及び一般管理費	1,604,191
営業損失(△)	△347,492
営業外収益	
受取利息	14
受取手数料	4,560
その他	1,272
営業外収益合計	5,847
営業外費用	
支払利息	4,479
支払手数料	1,713
その他	3
営業外費用合計	6,195
経常損失(△)	△347,840
特別利益	
新株予約権戻入益	10
特別利益合計	10
税金等調整前中間純損失(△)	△347,830
法人税、住民税及び事業税	5,446
法人税等合計	5,446
中間純損失(△)	△353,276
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△353,276

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純損失(△)	△353,276
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,541
その他の包括利益合計	△1,541
中間包括利益	△354,817
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△354,817

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失(△)	△347,830
減価償却費	80,848
受取利息及び受取配当金	△14
支払利息	4,479
売上債権の増減額(△は増加)	△45,625
棚卸資産の増減額(△は増加)	△559
未払金の増減額(△は減少)	43,163
その他	△45,852
小計	△311,390
利息及び配当金の受取額	14
利息の支払額	△2,103
法人税等の支払額	△9,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	△322,972
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△18,060
無形固定資産の取得による支出	△27,614
敷金及び保証金の差入による支出	△251
敷金及び保証金の回収による収入	589
その他	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,299
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△32,958
長期借入れによる収入	389,651
リース債務の返済による支出	△1,259
新株予約権の行使による株式の発行による収入	27,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	383,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,541
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,520
現金及び現金同等物の期首残高	2,846,178
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,859,699

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前当期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しております。中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は次のとおりです。

1. 連結の範囲に関する事項

子会社の数 1社

連結子会社の名称 SPIDERPLUS VIETNAM CO., LTD.

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

連結子会社の中間決算日は3月31日であります。中間連結財務諸表の作成にあたっては、同中間決算日現在の中間財務諸表を使用しており、中間連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。